

Südschule、Neureut 市と当校の三者会談と保護者会のご報告

【経緯】

Südschule、Neureut 市と当校の三者会談 2019 年 7 月 18 日(木)

出席者:Ortsverwaltung より Herr Jäger, Herr Wächter,

Südschule より Frau Huber(校長)

当校よりファフさん、シュルターさんのご主人、エッカレ(書記)

Neureut 市より校長先生へのお願い:

今後日本語学校への苦情が出た場合、いつ、どこで、何が起こったのかきちんと記録を残す。

●Neureut 市、Südschule より日本語学校へのお願い:

- ・今後、理事会と当番、幼稚部保護者以外は一切立ち入り禁止。
- ・教卓には各先生個人の思い入れのあるものが置いてあるため、触れてほしくない。
- ・展示物など触らない、壊さないで欲しい。
- ・車を Schulhof には停めないで欲しい。
- ・日本語学校の保護者は子供を校舎入り口まで送った後、校舎内には入らないで欲しい。→あまり大勢の出入りがあると、不侵者の見分けが付けにくくなるため。(校長先生の目から見て。)
- ・休憩時間、子供たちは外に出て、当番が子供の監督をする。(先生も休憩が必要なので。Südschule では先生が交代で休憩時間も監督をしているそうだが、当校ではそこまで先生に要求できないと主張した。)
- それならば休み時間に子供たちを外に出し、保護者が監督すればよい。
- ・保護者室は 9 月から貸し出さない。

●日本語学校から Südschule へのお願い:

- ・Südschule の先生が翌日の授業のために黒板を準備されている場合はその旨を明確にお伝えいただき、当校も使える部分を作って頂きたい。校長から先生方に伝えて頂く。

●その他

なぜ日本語学校だけが疑われるのかという問いに対して:

現在、校舎出入口はすべてオープンで誰でも入って来られる状態に対して、校長先生も不安を感じておられる。今後は 1 か所あるいは 2 か所のみ開けておく方向で Hausmeister と検討する。

最近は何かクレームがあったかという質問に対して:

「2 週間前にあった。Frau Hohaus-Wensauer の教卓からチョークが使われていた...。」

→その部屋は 2 日の例外を除いて、一切使っていないと主張。校長先生もビックリ。

当校との契約は 12 月末まで更新。その後は様子を見て検討。

日本語学校と Südschule の先生方や子供たちの交流の場を設ける為に Japan-Tag などを開催してみても、との当校からの提案には、Jäger さんも同じようなことを提案しようと考えていたらしく、校長先生も大賛成と好反応を示された。

◆保護者への説明会 7 月 24 日(水)16 時～ 書記 桐田

【保護者たちから出た意見、質問等】

→最優先されるべき【子供の安全】はだれの責任になるのか？

→去年、防災訓練までして、学校を借りている放課後の時間は、日本語学校が責任をもって建物全体の安全を守る、という認識であったが、「一賃貸人」としての立場となるのであれば、そもそも保護者がいない時間帯、建物全体の安全管理は学校側の責任になるのか？(校長はすべて自分の管轄下にあるべきと考えている？)

→日本語学校は契約上はどのような責任になっているのか、確認する必要があるのでは。

→補習校というのが、ドイツの通常の学校と同様に扱われるものなのか？(保護者の中にはいらぬのが当たり前)幅広い地域から週 1 回きており、保護者同士の連携、役割、情報交換という意味もある場。

→幼稚部、準一年生はまだいろいろと介助が必要だから、保護者に建物に入らないということは学校に来れないということになる。

→学校側の要求は無理難題なので、当面は言ったとおりにします、という姿勢で行うが、のちのちはやってみたが無理だったということで再度話し合いが必要ではないか？

【日本語学校側の対策として】

当面は以下のことを守る

- ・幼稚部、準一年生以外の保護者は子供を校舎の前で見送って、校舎内には立ち入らない。(名札つくる?)
- ・ただし幼稚部、準一年生の保護者はトイレなどの介助も必要なので、2名ずつぐらい交代で授業補佐という形で、教室近くで待機。外での待機が困難な場合、図書室等に速やかに入っていただく。(保護者室は使えないので、今後、学校側と要交渉。)
- ・当番表を更新し、再度情報共有。

※当番の仕事

- ・子供のトイレなど、必要があれば介助→幼稚部、準一年生教室の前で待機
 - ・休憩時間の子供たちを監視。
(校庭側のドアは外から開けられなくなるので、入るときは開けてあげる)
 - ・授業開始、終了の鐘鳴らし
 - ・授業終了後の掃除→掃除に関しては、当番と理事会で、先生と協力して行う。
-
- ・休み時間は当番監督の元、子供たちを外にだす。天候などによって随時臨機応変に対応してもらう、
 - ・挨拶をする。
 - ・机を触らない、元に戻す、きれいに使うなどを徹底する。
 - ・ハオスマイスターの部屋の前の駐車場は使わない。
 - ・図書室や連絡などで校舎内に入る場合も、速やかに済ませる。
 - ・扉は理事会を行っているスペースの左右2か所のみとする。
(駅からきた一番近いところの扉は施錠)
→不審者が入らないように、監視する意味でも

【今後】

- ・学校側の要求にも矛盾点、無理な点が多くあるので、当面9月は学校側の要求通りにしながら、今後時期をみて再度交渉する。
- ・子供たちの安全は、誰が守るか。という根本的な部分を考えないといけない。
- ・行事、総会など、保護者が入らないといけない場合は、事前に学校にメールで知らせる。
- ・保護者室は9月からなくなるが、その代替りベビーグループを新設するということにして、1部屋余分に申請しているので、小さいお子さんを連れた保護者の方はその部屋に入ってもらって待ってもらえることができる。